

環境まちづくりNPO

元気力発電所ニュース No.48



〒177-0041 東京都練馬区石神井町1-24-6 TEL/FAX03-5393-5944 e-mail:genkiryokuhonbu@diary.ocn.ne.jp

あけましておめでとうございます。今年も自然エネルギーの普及のためによろしくお願ひいたします。

練馬まつりに出展 「おひさまパワーを体験しよう！」

10月19日（日）第48回練馬まつりに出展しました。会場は開進第二中学校で「子ども向け体験教室」のブースで行いました。

曇天でお昼頃には雨が降り出すあいにくのお天気でしたが、多くの参加者が足を止めてくださいました。

今回は小学生にソーラークッカーに関するシールアンケートをお願いしました。

50名が参加して小学2年生以下はソーラークッカーを知らないが22名中19名、3年生以上は28名中16名でした。3年生の理科の教科書に載っているので3年生以上は知っている、が半数近かったです。

シールを貼ってから、並んでいるソーラークッカーを実際に見て触ってもらいました。気温が上がらず、ひまわりのゆで卵は晴れたときの写真や、エコ作500とかるぴかのお湯沸かしも前年のデータをみて、おひさまパワーを知ってもらいました。雨がぱらつく曇天だったのでおひさまパワーを体験してもらうことができなかったのは残念でした。曇天でもミニソーラーパネルで扇風機が回ることがわかり、スタッフにとっても良い体験になりました。



▲ブース全景



▲曇天でも回る扇風機



▲シールアンケート

ミニ市民発電所7号機を寄贈しました

12月8日に特定非営利活動法人わかちあい練馬にミニ市民発電所7号機を寄贈しました。わかちあい練馬は2021年に「吹っ飛ばそう貧困 in 練馬」として区職員やOB・OG、貧困や孤立・孤独の問題に関心を持つ市民らによって結成された団体です。日常活動はもちろん、屋外での支援活動などで活躍してくれるとよいですね。



市民発電所13号機の設置場所を探しています…これまでに公共性のある施設に12機の市民発電所を設置しました。自然エネルギーの普及のためにお互いの活動を理解し合える団体で、練馬区内だけではなく、近隣の地域でもよいのでこんなところがあるよ、ここはどうだろうなど情報を寄せただけたらありがたいです。

「ソーラークッカーひまわりを作ろう！」 つながるフェスタ in 大泉に参加

9月28日(日)勤労福祉会館で開催されました。ソーラークッカーひまわりのワークショップとソーラークッカーの教材やパネルの展示をしました。ひまわりは小学生2人(1年と4年)が親子で作成し、キットの持ち帰りは3人。読み聞かせ、紙芝居、体操、演劇体験、手話などの参加団体と交流できました。(伊藤)



i-LDK での元気ちゃんのソーラー実験

晴天の9月27日(土)10時30分から「元気ちゃんのソーラー実験」を行いました。メニューはサバ缶入りカレーライス。エコ作500で野菜の温め、かるびかではメスティンで炊飯2回とカレーの仕上げ、ひまわりはゆで卵、レジヤーシートクッカーでレトルトご飯の温めを。どのクッカーも12時には美味しくできました。(松尾)



「洋服屋さんですか？電気屋さんですか？」練馬ステーションから

10月20日南町小学校の2年生が「えがおのまちたんけん」で取材に来ました。電気は扱っていませんが、洋服などの収入で活動していることを伝えました。「コーヒーカップが安い！」「ぬいぐるみを寄付したい」品物に興味津々の小学生でした。

2月7日(土)第53回「消費生活展 わりま2025」に出展します

石神井公園区民交流センター2F、3Fで10時～16時まで開催です。

元気力発電所の出展ブースは2F受付そばのスペースです。

「おひさまパワーで何ができる？」ソーラーパネルとソーラークッカーの展示、ソーラークッカーひまわりのワークショップをします。

盲導犬と一緒に歩く体験や、減プラ生活、食品ロス削減他暮らしの知恵に役立つ多くの団体が出展しています。



～講演会のお知らせ～

2011年に起きた東日本大震災による福島第一原発事故から15年。元気力発電所が2015年から毎月11日に「支援の日」として当日のリユース収入の30%を寄附している福島子ども保養プロジェクト@練馬は毎年1月に講演会「震災・原発避難者はいま」を開催しています。今回で11回目となりました。ぜひご参加ください。

講演会 震災・原発事故避難者はいま Part11

『福島の15年 今だからこそ伝えたい』

日時：2026年1月31日(土) 18時半～20時半

会場：練馬区立区民・産業プラザ（ココネリ）ホール

講師：蟻塚亮二さん（メンタルクリニックなごみ/精神科医）

語り部をされた2名の若者たち

参加費：500円（高校生以下・避難者は無料）

※オンライン併用。お申し込みは info@hoyounerima.org

講演会 震災・原発避難者はいま PART11

福島の15年 今だからこそ伝えたい

2026年 1月31日(土)

18時半～20時半

練馬区立区民・産業プラザ（ココネリ）ホール
(西武池袋線・都営大江戸線練馬駅北口)

東京電力福島第一原発事故から15年。大震災と原発事故の後、若者は故郷からいなくななり、「あと10年経ったら息子が結婚して孫の顔を見られる」といった未来計画は吹っ飛んでしまった。人々は「震災後に生きるほうがつらかった」といふ。いまも出漁規制が続く漁業が復興するのは100年後になるのだろうか。

講師「震災ストレス研究会」代表
蟻塚亮二さん（医師）

「おらもしゃべってみっか」の会
語り部をされた2名の若者たち

参加費：500円

（高校生以下と避難者は無料）

◆オンライン（ZOOM）も併用します

（お申込みは下記QRコードから）

主催 NPO法人福島こども保養プロジェクト@練馬

オンライン申込・お問い合わせ：070-3982-9514 イタミ

info@hoyounerima.org

●本事業は成田市たまごの里運動資金を財源とした

練馬区社会福祉協議会の成金（浜田）でございます

